



11・2 全国労働者総決起集会

11月2日(日)

正午開始
芝公園第23地区

外国人排斥を許すな！ 極右の台頭と対決を！

米日の中国侵略戦争阻止！ 米イスラエルによるガザ・ジェノサイドを止めよう！ 外国人労働者・難民の強制送還を止めよう！ 人種プロファイリング、警察と入管（ICE）による暴力を止めよう！ 民営化、労組破壊・非正規化を粉碎しよう！

全国労働者総決起集会 2025年11月2日

主催：

国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）

国鉄闘争全国運動

改憲・戦争阻止！大行進

11月2日（日曜）正午
集会・デモ

芝公園第23地区

東京都港区芝公園3丁目

MAP



発行：動労千葉国際連帯委員会

連絡先：doro-chiba@doro-chiba.org

多言語チラシ（ウェブ版）

国際的に団結すれば、労働者は決して敗けない！

全国労働者総決起集会で、戦争、排外主義、差別と闘う力を示そう！

全世界の労働者の目前で、パレスチナでの残虐なジェノサイドが展開されている。イランの核施設が爆撃され、日本もこの戦争に加担している。世界戦争への道は既に開かれている。帝国主義諸国では極右政党が台頭している。日本の参院選でも、与党が「外国人取り締り」を掲げ、諸政党が押し並べて外国人排斥の煽動をエスカレートさせた。選挙運動では、1923年の関東大震災後の朝鮮人・中国人虐殺を示唆する言葉さえ使われた。「中国の脅威」を煽り、中国に対する侵略戦争を構えている。

日本における外国人労働者の労働条件は劣悪だ。労働基本権・人権が事実上否定されている。最近報じられたが、栃木県の農場主が、残業代を支払わず、いわゆる「研修生」の従業員3人にほぼ毎日性的暴行をしたのに、起訴もされず、現在も自由の身だ。改正出入国管理及び難民認定法は、難民申請者、特に繰り返し申請し却下されてきた人々に対し、過酷な強制送還の実施を規定した。

しかし、このような戦争、右傾化、そして差別の激化は、帝国主義の衰退の現れだ。私たちは反撃できる。

動労千葉の国際連帯

動労千葉は、1965年の日韓条約反対の闘争以来、日本の侵略、戦争、そして差別排外主義と闘ってきた。1980年代、日本における最大の組合破壊と大量解雇、国鉄分割・民営化に反対してストライキを敢行し、団結を守り抜いている唯一の労働組合である。

動労千葉は、イラク戦争勃発の2003年、韓国民主労総ソウル地域本部と共闘関係を確立し、以来、両国で毎年11月に開催される集会や個別闘争を通じて連帯してきた。また、米国ILWUのランク&ファイルや他国の労働組合、そして在日滞日の外国人労働者や難民との連帯を強化してきた。

軍事クーデターを阻止した韓国労働者が11・2集会で発言

昨年12月3日、当時の尹錫悦大統領が戒厳令を布告し、軍を動員して野党議員や組合幹部の逮捕を企てたが、韓国労働者は直ちに銃口を向けている軍と対峙し、鉄道労働者を先頭にゼネストに突入し、ついに尹大統領を打倒した。

この歴史的闘争の英雄的戦士であるKCTUSoul地域本部の指導者が、今年も11月集会で主要な演説者の一人として登壇する。

11月2日の集会に参加し、共に闘おう！

力を合わせれば、帝国主義——海外での戦争・国内での階級闘争——を打ち破れる。国際的な連帯を築き、新たな運動を創ろう！